

登録コード	E8766400	開講年度	2026				
授業科目	卒業研究					担当教員	友川 幸
英文授業名	Studies on Graduation Thesis					副担当	
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				卒業論文の作成を通して、教育の専門家に求められる深い教養に根差した公共的使命感や倫理観を身につける。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				卒業論文の作成を通して、教育活動を支え実現するうえで欠かせない専門的知識・技能を身につける。		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、多文化協働、健康長寿、防災減災						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	卒業論文の作成において求められる基礎的な知識や技術を身につける。また、各自の研究課題を設定して、先行研究、調査計画の立案、実施、及び収集データの整理、発表といった一連の研究プロセスを体験する。						
(5)授業計画	4 年次前期までの定期的なゼミ活動 全ての回で情報機器の活用を含む ・研究活動の意味を理解するためのディスカッション ・研究課題の設定に関するディスカッション ・研究方法（調査項目の作成方法，調査計画，データ分析・統計処理の方法等）の演習 ・先行研究の整理 4 年次後期における定期的なゼミ活動と個別指導 ・教材開発や調査の実施 ・データ分析 ・考察 ・論文作成（ 1 月下旬） ・抄録作成（ 1 月下旬） ・卒論発表会（2月上旬）（ 授業アンケートの実施）						
(6)成績評価の方法	卒論発表会での報告（30%），論文の成果（50%），研究の取り組み（20%）で総合して評価。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	作成した研究論文に対して，研究の背景が適切に説明されている。研究の目的が、先行研究を踏まえて適切に設定されている、研究の方法が、科学的理論に基づいて適切に説明されている。研究の結果が適切に説明されている。研究結果が科学的理論に基づいて考察されている。 ・ ～ 項目までができていれば「水準にある」 ・ ～ 項目までができていれば「やや上にある」 ・ ～ 項目までができていれば「かなり上にある」 ・ ～ 項目までができていれば「卓越している」						
(8)事前事後学習の内容	毎回のゼミ実施の前後に課される課題を確実にこなしてゼミに参加すること。この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って，60時間以上の時間外学習が必要となります						
(9)履修上の注意	発表の際には、出典を明示すること。						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	質問、相談は毎週行うゼミの時間内で行うこと						
【教科書】	適宜使用						
【参考文献】	これからレポート・卒論を書く若者のために 第2版 酒井 聡樹 1,980円 共立出版						